



■中沖小学校校舎が新しくなりました！

中沖小学校では、令和2年5月から校舎の大規模改修工事が行われてきました。

その間、仮設校舎で学校生活を過ごしてきましたが、令和3年1月18日に生まれ変わった校舎へ引っ越しました。

子どもたちは、新しく広々とした教室での学習に大変喜んでいました。



【新校舎の外観①】



【新校舎の外観②】



【新校舎内での授業の様子】

■新型電子黒板導入されました！

2月下旬から順次、町内各学校に学級1台を目安に導入しました。

パソコンだけでなく、子供たちが今後手にするiPadの映像を投影したり、電子黒板自体にも様々な機能が搭載されていたりします。学習内容の理解のために、より効果的に活用されます。

使用した先生方のコメント

「画面が大きくとても見やすいです！子どもたちもとても喜んでます。ノートを拡大してうつすことができる書画カメラと電子黒板は、発表時に大活躍してくれそうです！今後、電子黒板とタブレットの連動は、多様な有効活用ができると思います。これらの機器を活用しての授業展開を考えると、今からワクワクしています！」



僕の夢 私の夢

『信頼される僧侶を目指して』

No.45 中沖小学校 6年 白坂 なつ

私の将来の夢は、僧侶になることだ。私の家はお寺をしている。そのため、僧侶になりたいと思うようになった。

僧侶には、すばらしい所がある。一つ目は、歴史を継承できる所だ。お寺にはたくさんの歴史があり、どのお寺にも古くから受け継がれてきたものがある。僧侶になれば、それを受け継ぐことができる。とてもすばらしいことだと思う。私のお寺の積み重ねてきたものを伝えていきたい。二つ目は、仏教の教えを学び、大人になっても勉強を続け、自分を高められるところだ。僧侶になる前も、なってからも、仏教の教えを学び続けることになる。説法もあるため、お寺を訪れる方々に仏様の話をする。そのためには話す内容も正しい知識でなければならない。だから、たくさん勉強していろいろな知識を身に付ける必要がある。

これらのことから、僧侶という職業はとても意義のある仕事だと思う。お寺の仕事を受け継いでいく者として門徒さんから信頼される僧侶を目指したい。